

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【公開番号】特開 2014-7520 (P2014-7520A)

【公開日】平成 26 年 1 月 16 日 (2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2014-002

【出願番号】特願 2012-141328 (P2012-141328)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/03 (2006.01)

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/60 (2006.01)

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

H 0 4 R 1/00 (2006.01)

H 0 4 R 3/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/03 C

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/03 B

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 M 1/60 D

H 0 4 R 1/10 1 0 1 A

H 0 4 R 1/10 1 0 1 B

H 0 4 R 1/10 1 0 4 A

H 0 4 R 1/00 3 1 7

H 0 4 R 1/00 3 2 7 A

H 0 4 R 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 10 日 (2015.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耳介付着部の乳様突起側に接触する軟骨伝導部と、コンタクトマイクとを有することを特徴とする送受話装置。

【請求項 2】

電池を有し、前記コンタクトマイクは前記電池によって前記軟骨伝導部と隔てられていることを特徴とする請求項 1 記載の送受話装置。

【請求項 3】

前記コンタクトマイクが拾う前記軟骨伝導部の振動をキャンセルするキャンセル手段が設けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の送受話装置。

【請求項 4】

前記軟骨伝導部は一方の耳における耳介付着部の乳様突起側に接触するよう配置されるときとも他方の耳における耳介付着部の乳様突起側に接触する第二の軟骨伝導部を有することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の送受話装置。

**【請求項 5】**

前記軟骨伝導部および前記第二の軟骨伝導部を連結して支持する支持部を有することを特徴とする請求項4記載の送受話装置。

**【請求項 6】**

前記コンタクトマイクが前記支持部に設けられていることを特徴とする請求項5記載の送受話装置。

**【請求項 7】**

前記コンタクトマイクは前記軟骨伝導部および前記第二の軟骨伝導部に対して非対称に設けられているとともに、前記コンタクトマイクが拾う前記軟骨伝導部および前記第二の軟骨伝導部の振動に対して互いに異なるキャンセルを行うキャンセル手段が設けられていることを特徴とする請求項4から6のいずれかに記載の送受話装置。

**【請求項 8】**

前記軟骨伝導部および前記第二の軟骨伝導部近傍にそれぞれ電池を配したことを特徴とする請求項4から7のいずれかに記載の送受話装置。

**【請求項 9】**

外耳道入口近傍を覆う覆い部を有することを特徴とする請求項 1 から8のいずれかに記載の送受話装置。

**【請求項 10】**

耳介付着部の乳様突起側に接触する軟骨伝導部と、外耳道入口近傍を覆う覆い部とを有することを特徴とする送受話装置。

**【請求項 11】**

前記覆い部はヘルメットであることを特徴とする請求項 10 記載の送受話装置。